



**設計開発から製造、販売、保守まで一貫して行える会社だからこそ、ご提供できる価値があります。**

公共性の高い場所に設置される設備時計や情報表示は常に正確な時間・表示を求められます。高い技術力を持った自社の技術・サービススタッフが『修理』『保守点検』『機器リニューアル』を行います。

### 修理

#### 故障かな?と思ったら

不具合発生時には、まずは電話によるヒアリングを行い方針を決めます。電話による説明・アドバイスで復旧、製品を弊社工場に送付していただき修理、自社スタッフが現地出張修理対応など最善の方法を判断し、ご提案致します。

### 保守点検

#### 長くお使いいただくために

定期的な保守点検をご契約していただくことで、機器トラブルの未然防止、機器の長寿命化が期待できます。点検完了後は点検結果の報告と合わせて、部品の交換やオーバーホールなど機器を長くお使いいただけるよう最善のプランをご提案致します。また万一故障が発生した場合などは最優先に対応させていただきます。

### 機器リニューアル

#### 在るものを活かしつつ新たな機器を

長年ご使用いただいた機器も老朽化は避けられません。更新時は徹底した調査、ご要望のヒアリングにより、撤去や取付工事も含め、ご予算に応じた最適なリニューアルプランの提案を致します。また他社製品でも互換性も考慮して更新の調査・提案を行っています。



**機種ご更新をご検討ください** 補修部品保持期限のご案内

近年、著しい技術革新による電子部品の進歩により、各種部品の更新サイクルが早くなっており、設備時計においても部品調達に困難が生じております。

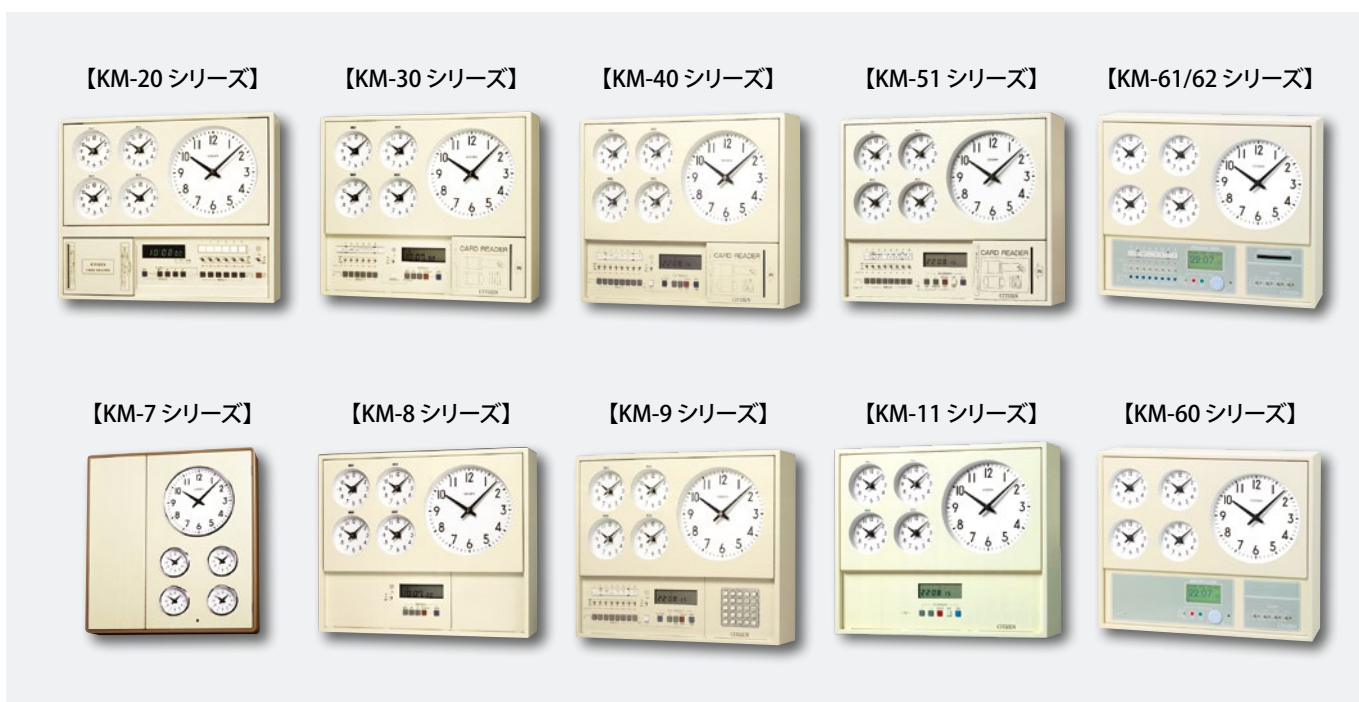
今後もアフターサービス向上を目指して部品の確保・供給に努めて参りますが、生産中止後一定の年数を経過している製品につきましては補修部品の供給が出来ない場合がございます。このままでは当社製品をご愛用いただいているお客様にご迷惑をお掛けする事も考えられます。

お客様に、より安全で正確な時刻を提供させていただくため、適切な期間で新機種への更新をご検討いただきますようお願い申し上げます。



**下記の KM シリーズは、補修部品の供給ができません。**

◎機種ごの型番は、製品の扉を開けていただくと中の銘板に記載されております。



\*KM-20 / KM-30 / KM-40 / KM-51 シリーズに使用しているプログラムカードは販売を終了しています。

製品	生産開始	生産終了	補修部品保有期限	修理対応
KM-20 シリーズ	1983 年 4 月	1989 年 5 月	1997 年 5 月	終了
KM-7 シリーズ				
KM-30 シリーズ	1989 年 10 月	1994 年 3 月	2002 年 3 月	終了
KM-8 シリーズ				
KM-40 シリーズ	1994 年 4 月	2000 年 4 月	2008 年 4 月	終了
KM-9 シリーズ				
KM-51 シリーズ	2000 年 5 月	2004 年 6 月	2012 年 6 月	終了
KM-11 シリーズ				
KM-61/62 シリーズ	2004 年 7 月	2013 年 3 月	2018 年 3 月	終了
KM-60 シリーズ				

新型の水晶式親時計については P.15 をご参照ください。